

新居浜市総合文化建設委員会 第2回分科会 小劇場 会議録

1. 日時	平成23年6月14日(火) 10:00~12:05
2. 場所	新居浜市役所 3階応接会議室
3. 出席者	<p>委員 山本光博 好井和樹 田邊憲司 石川猛 伊藤公一 福本美喜和</p> <p>総合文化施設準備室係長 藤田英友 " 主事 山内貴志 " 山田慶治</p> <p>(株)日建設計 3名 (株)トータルメディア開発研究所 2名 新居浜市役所 建築住宅課 2名</p>
4. 欠席者	なし
事務局	<p><開会挨拶></p> <p>定刻がまいりましたので、ただ今から、新居浜市総合文化施設建設委員会第2回小劇場分科会を開催いたします。</p> <p>なお、総合文化施設準備室長の赤尾、及び副室長の菅につきましては、本日東京へ出張のため欠席させていただいております。ご了承ください。</p> <p>それでは最初に、あいさつということで、委員長をお願いします。</p>
委員長	<p>皆さまこんにちは。</p> <p>本日は、第2回「新居浜市総合文化施設建設委員会」あかがね分科会の開催にあたりまして、公私ともご多忙の中、ご出席頂きまして、心からお礼申し上げます。</p> <p>それでは、事務局から配布しております会次第に沿って、会議を進行いたします。事務局より説明よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>9月の基本設計完成を目指しております。それに向けて逆算しますと、本日で基本的な意見の集約を行いと思いますので、よろしくをお願いします。</p>

<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;"><各委員からの意見></p> <p>それではまず最初議題 1 ということで、前回の分科会でお配りし、提出頂いた総合文化施設に対する意見についてです。資料をご覧ください。</p> <p>各分野ごとにまとめたものになっておりますので、意見を参考にこれからの設計に活かしていきたいと思えます。また、ご意見の方よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center;"><既存施設及び周辺施設の利用状況について></p> <p>次に、議題 2 に移りますが、既存施設及び周辺施設の利用状況についての説明いたします。会次第の 4 ~ 13 ページをご覧ください。</p> <p>委員さんから、施設の大ホール、中ホールの利用状況はどうなっているかというご質問がありましたので準備いたしました。資料の 4 ページになりますが、新居浜市民文化センターの平成 22 年度の利用状況をまとめたものになります。大ホール、中ホールの使用数を種類ごとに分けましたので目をとおして頂ければと思えます。次の、5 , 6 ページには、平成 17 年度 ~ 22 年度大、中ホールの利用状況を表にまとめたものになります。7 ~ 12 ページにグラフにしたものも準備しました。最後のページになりますが、市内外のホールの利用状況を集計表にしたものです。参考にして頂いてご意見を頂けたらと思えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>小劇場の天井高はどうなっているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そういった説明は、後ほど事業者の方からありますのでご了承ください。</p>
<p>委員</p>	<p>利用状況の資料を今渡されて意見するのは難しいので、事前に渡してもらいたかった。</p>

	<p>しかし、説明もあったように大ホール、中ホールの多い利用は、ピアノ・コーラスだと思う。他に演劇も多いと思います。他の利用方法を増やすには、市のバックアップがあれば増えると思う。</p> <p>私の考えですが、バレエも全国的に増えているので、設備を考えてほしい。実際、舞台設備をフルに使える団体はほとんどないので、私は舞台設備を完璧に備える必要はないと思う。</p>
委員	<p>今あるホールの設備と同じにしてしまうと、何も変わらないホールになってしまう。新しい舞台として何かを違った形にした方が良いと思う。</p> <p>私も、幅広いジャンルの方々の利用を求めているので舞台設備を何でも使えるように設備を揃える必要はないと思う。</p>
委員	<p>コーラスについて、文化センター大、中ホールの資料のグラフを見て頂ければわかりますが、近年カラオケの利用者が増えている。価格が安いのもあり、利用者が多すぎて並んで抽選という形になってきている。そのため、使える日が少なくなっている。市外の人利用も増えているので、これらのことも考慮して考えてほしい。</p>
委員	<p>劇団では連日使用をしないといけない場合が多く、1日目にリハーサル、2日目に本番といった形がスムーズに進められる。松山市民会館では、2日以上といった連日使用をする団体を優先的にいれているんですが、今回の小劇場もそういった利用者の申し込みの優先順位といったものを設けるのはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>これからの先の運営計画の件で決めていければと思います。</p>
委員	<p>委員の意見を聞くだけでなく、市の方で決まっていることがあればこちらサイドに伝えて頂きたい。でないと決まっていることの議論をしても意味がない。漠然としていて話が前に進まない。</p>

委員	<p>イメージが定まっていなさすぎて、何を主に利用する等のことをハッキリした意見を、聞くだけでなく、市の方からの意見も出してほしい。</p>
事務局	<p>たしかに行政の方が率先して動かないと前に進まないと思う。今資料に提示しているものが、我々の考えで、こちら側も何を主にしていくかを検討している中で、委員の方々から行政に対して何をしてほしい等の意見をお聞きしたいと思っています。</p>
委員	<p>今のお話ですが、やっぱりソフト面でシッカリした土台を定めて頂きたい。小劇場を作るだけで、後は、市民が自由に使ってください。ではいけない。行政側がピックアップして行って引っ張っていくことが大事だと思う。</p> <p>あと、ハード面で資金を全部使うのではなく、運営のことを考えて1割でも運営の方に回すというのも良いと思う。たしかに各トップの意見が強いのが現状ではあるが、それを抑えることも必要になってくると思う。</p>
委員	<p>劇場のコンセプトが「一体感」ということをお聞きしましたが、250席という数の理由が「一体感」というのは納得いかない。何を目的として「一体感」としているのか、明確にして頂きたい。</p> <p>鴻上尚史さん・高見知佳さんなどの有名な新居浜出身の方々の力を借りるなどの活性化に繋がるような小劇場にしてほしい。</p> <p>たしかに演目を明確にして進めないと意味がない。「一体感」は、演者の腕次第であって、250席は「一体感」を理由にしてはいけない。1000席であっても「一体感」はもてる。</p> <p>皆さんが共通で思っているのは、コンセプトを明確にしてもらわないと具体的な話し合いにはならない。</p>
委員	<p>資金面や面積のことは打ちだされているのに、全面的なことが</p>

事務局	<p>でていない。もっと全面的なことまで出してほしい。</p> <p>あと、鴻上さんは、新居浜で活動することを断わっているのか。</p> <p>菅副室長が鴻上さんの方へお話に行っているのですが、断わっているとかではなく、鴻上さんも生活が懸かっているお仕事なのでボランティアでというのは難しいので、これからの話し合いで詰めていけたらと考えています。</p>
委員	<p>坊っちゃん劇場が450隻で、責任者にお話をお聞きしたんですが、なぜ450席かというのは、松山の一番多い生徒数の高校が松山東高等学校で、一学年の人数が450人程度、その生徒が1回で入る数にしたという明確な理由をおっしゃっていました。こういった理由を明確に伝えてほしい。</p>
委員	<p>その前に、250席というのは確定なのか。それとも決まっていなくて、これからの話し合いで増えたり、大きくなったりも考えられるのか。それを明確にして頂かないと、今の話し合いの意味が全く意味のないものになるんで。</p>
事務局	<p>正直、250席で決まりではありませんが、多少の増減はありますが、500席や400席といった大幅な拡大はあり得ません。</p>
委員	<p>そういったことを明確にさせていただくと前に進んだ話し合いができる。</p>
委員	<p>椅子の幅について、60cmは広すぎないか。様々な形や種類があるので考えてほしい。</p>
事務局	<p>椅子の幅が60cmという件は、まだ確定ではない。面積等の問</p>

<p>(株)日建設計</p>	<p>題もあるので、それに合ったものになりたいと考えています。</p> <p>私どもの設計では、椅子幅が60cmではなく、平均的な54cmで設計しておりまして、その椅子幅でも400㎡に収まっていない状況でして、これから試行錯誤して考えていきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>椅子の話になったので、親子席というのは良い案だと思う。子供がいて来られない方も多いと思うので、ぜひ、親子席の案は取り入れてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>わかりました。</p> <p>時間も限られておりますので、(株)日建設計の資料説明に移りたいと思います。</p> <p>(株)日建設計さん、ご説明お願いします。</p> <p style="text-align: center;">< (株)日建設計 資料説明 ></p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>小劇場の検討についてご説明に入ります。</p> <p>まず初めに、参考資料といたしまして、小劇場類似施設の資料を作ってきました。イメージできればと思っています。</p> <p>2ページですが、新居浜市総合文化施設との規模比較表になります。これを見て頂いたら今回の小劇場は良いものになると考えられます。</p> <p>次に3～30ページに亘り、各ホールの内装、設備が載っておりますので、目を通して頂ければと思います</p> <p>次に、小劇場計画の検討という資料の説明をします。</p> <p>最初に説明した資料と比べながら見て頂いてご意見をいただけたらと思います。まだ検討案なので、委員の皆さまの意見と相談しながら、これから作成していきたいと思っています。</p> <p>検討案で、様々な使い方を載せてみました。検討案1では、劇場利用時の形になっています。検討案2では、コンサート利用時の形で、検討案3では、ロールバックチェアを下げた状態の平土間利用時の平面図と断面図になっています。後のページは、各検</p>

	<p>討案の拡大したものになっています。最後のページには、300人規模の舞台規模比較の資料になっています。</p> <p>次に、「小劇場の残響時間について」の資料の説明に入ります。</p> <p>最適残響時間ついてですが、残響時間は空間ボリュームに比較する性質があり、空間が大きくなるほど残響時間の最適置は長くなります。また、残響時間の最適置は空間の用途にもよっており、演劇や講演会など、スピーチや音楽の明瞭さを重視する催し物に対しては響きを抑えて短めの残響時間とすることがふさわしく、クラシックの室内楽のように豊かな響きを必要とする催し物に対しては長めの残響時間とすることが求められています。</p> <p>現状での小劇場の空間ボリュームは約3,000m³であり、室容積、用途と最適残響時間を示しているのが下の図になります。赤色のものが、演劇やスピーチ利用に対しては、0.8～1.0秒程度であり、青色のものが、クラシックといった室内楽利用に対しては、1.1～1.3秒程度が平均的と考えています。</p> <p>次に、残響時間の設定と変化についてですが、小劇場内の残響時間は舞台側の空間の設え方によって変化します。諸幕を設置した状態では響きが短くなり、反射性の面で舞台を囲み、諸幕を隠すと響きは短くなります。客席空間に残響可変機構を設けることで若干の響きの変化をつけることができます。</p> <p>これらの方法による残響時間の変化幅には限りがあるため、今後、可変可能な幅を検討しながら、各用途に対する目標値を提案してまいります。</p>
事務局	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>委員の方々からのご意見があればお願いします。</p>
委員長	<p>緞帳のためのフライタワーはいらないと思う。他の設備に必要なのであればいるのかもしれない。</p>
(株)日建設計	<p>内装の説明でしたので、ご意見を参考に考えていきます。</p>

委員長	天井の照明等の機器類は、客席から見えるんですか。
(株)日建設計	丸見えになると思います。しかし、隠すこともできるが、照明はどうしても見えてしまいます。
委員長	残響の説明を聞いて、反響板はいらないかもしれないですね。
(株)日建設計	私どももそう考えていました。反響板を付けるとスタッフ等の問題も楽になると思います。それに、資料にもありますが、壁に細工をすることで声の残響が残るようにもできますので検討していきたいと考えています。
委員	<p>平土間の件ですが、メンテナンスがネックになる部分になると思いますが、可変的な物になるので、多様性の部分で非常に便利なのでロールバックチェアにしてほしい。</p> <p>あと、バトンや設備について、大きい物や重たい物を上げることがないと思うので手動式でも良いと思う。</p>
(株)日建設計	手動式は、価格は安いですが危険性は大きいにあります。どちらを取るかは相談になります。あと、最近の物はドラムで巻き取るモノなので場所は取りません。
委員長	ロールバックチェアが良いと思うんですが、座り心地や肘掛等の最低限の配慮は徹底してもらいたい。
(株)日建設計	最近の物は、固定椅子と変わらないくらいのもになってきているので種類によります。また相談になります。

委員	側板はいりますか。私は、側板のイメージがないので。
(株)日建設計	側板は、音を前に飛ばせるので、音楽関係に配慮するのであればあった方が良いですが、今回の場合はどちらでも大丈夫だと思います。仮設のものもありますが、収納の件でまた、問題になります。
事務局	終了予定時刻がまいりましたが、(株)トータルメディア開発研究所から共通資料の説明をお願いします。
(株)トータルメディア開発研究所	<p style="text-align: center;">< (株)トータルメディア開発研究所 資料説明 ></p> <p>共通資料の説明に入ります。</p> <p>前回の事業の基本的な考え方・施設整備目標の設定を直したものがお手元にあります資料になります。委員の方々からの指摘をもとに新しく作成いたしました。また目を通して頂いてご意見を頂ければと思います。</p> <p>次に、あかがねフォーラムの全体フロアイメージの資料に移ります。1ページ目ですが、交流のコンセプトを絵に表したものになります。交流のできる空間を真中におくことで、人と人が触れ合えるものになると考えています。そして、1ページのアート工房のフロアイメージを詳しくしたものが2ページになります。どんな物が空間内にあるかを説明します。1つ目に、「インフォメーション」これは、市民の皆さまの館内での活動をサポートする案内所。アート工房の使用法や道具の貸出の窓口、さらにはあかがねミュージアム全体の総合案内のための情報提供を行う。2つ目に、「工房」(アトリエ)水場などの設備が整った創作活動が行えるクローズな場所。あかがねミュージアムで開催する多人数でのワークショップ活動や各種サークル活動に利用できる場所。3つ目に、「工房」(オープンラボ)アトリエと同様に創作活動を行う場所。セミオープンな空間の中で、机、椅子の配置次第で、多人数でのレクチャー形式の創作活動や、個人での簡単な創作活動まで幅広く対応できるようになっています。4つ目に、「ギャラリー」アート工房内で創作された創作物や創作するための素材</p>

を展示できるスペース。きれいにディスプレイされることで、人々の興味をひき、促進できるようにするものになります。5つ目に、「スタジオ」音が出るワークショップ活動、さらにはバンドや太鼓、落語や演劇のリハーサルに使用できる防音室。小劇場のリハーサルに使用できるスタジオ大、また各種サークル活動に利用できるスタジオの2種類があります。6つ目に、「打ち合わせスペース1・2・3」市内や館内で活動する組織の打ち合わせのスペース。会議や講習会のためのクローズなスペース1や床があり和室として使用できるスペース2、ミーティング形式のためのオープンなスペース3を配置し、皆さんの活動に応じて対応できます。

次に、交流サロンのフロアイメージに移ります。資料の3ページをご覧ください。1つ目に、「交流サロン」テーブルと椅子が並び、喫茶を行いながら、市民の皆様が休憩、談笑、学習、打ち合わせに使用できるスペース。小劇場と隣接し、待合スペースとしても利用可能です。また、フリーステージと連動し、イベント時には開放して使用できます。2つ目に、「カフェ機能」簡単な飲食、喫茶が提供できるカウンターになります。3つ目に、「ショップ機能」あかがねミュージアムのグッズや新居浜ゆかりの品々、さらにはアート工房で製作されたものを販売できるショップもあります。4つ目に、「屋内フリーステージ」階段状のフリーステージで、スタジオでの活動を鑑賞するための機能としても活用できます。

次に、4ページのあかがね文化展示検討資料の概要の整理に移りたいと思います。

最初に、あかがね文化の位置付けについてご説明します。「あかがね文化」の担い手は、市民一人一人です。そのため、この場所は、市民自ら活動できる場所として位置付けています。「あかがね文化」ゾーンは、単なる交流する場所にすぎません。様々な活動をされている主体が、この「あかがね文化」という場所を活用して、交流を通じて新居浜というものを発信していく場所です。

次に、あかがね文化の機能をご説明します。あかがねミュージアムの中でも、「新居浜らしさ」を表出する場所として、新居浜らしさに触れ合い、学ぶ機会を提供していきます。新居浜を語る上で、欠かせない要素を、「誇り・技・心」という3つの切り口

事務局	<p>で伝えていきます。「誇・技・心」を詳しく説明いたしますと、太鼓台ミュージアムを「誇り」として、誇りの醸成を太鼓台、太鼓祭りという新居浜のシンボルを用いて、新居浜市民の誇りを醸成します。次に、産業遺産インフォメーションを「技」として、技の継承を新居浜の歴史を表している産業遺産を伝えることで、受け継がれてきた技を未来へ継承していきます。次に、地域文化醸成を「心」として、心の育みを新居浜の歴史・文化・自然・人・風土を通して、新居浜市民の心を養い育んでいきます。</p> <p>これらの考えを絵で表し、構成図として表したものが5ページになりますのでご意見頂ければと思います。</p> <p>委員の方々のご意見をお聞きしていきたいのでお願いします。</p> <p>< 閉会挨拶及び次回分科会説明 ></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>時間も押しておりますので、次回の委員会について説明させていただきます。今回までに様々な意見をいただいたことから、その意見を基に、また、全体とのバランスを考慮しながら、基本設計のたたき台を作成したいと思います。また、開催日につきましては、調査表をもとに決定し、ご連絡いたします。</p> <p>その他、何かご質問はないでしょうか。無いようでしたら、かれで、第2回小劇場分科会を終わります。</p> <p>今日は、お忙しい中ありがとうございました。</p>
-----	--